



国民春闘共闘

2024年度 第25号
2024年7月3日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24年・第3回夏季一時金集計

単純平均 1.94 ヲ月 616,703 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6月27日、2024年第3回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2024年	2023年同期
回答引き出し組合	817	928
うち 妥結組合	344(42.1%)	487(52.5%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2024年回答	2023年同期	同期比
単純平均	月数	1.94	1.93	0.01
	額(円)	616,703	589,036	27,667
加重平均	額(円)	594,806	593,353	1,453
	組合員数	137,153	146,675	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	24年回答	23年実績	実績比
単純平均	月数	684	529(77.3%)	224(32.8%)	1.96	1.95	0.01
	金額	377	263(69.8%)	242(64.2%)	635,994	619,940	16,054

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.765	1.340	0.504	1.141
	前年同期	0.730	1.342	0.510	1.190
	前年実績	0.738	1.287	0.472	1.076
	額(円)	55,462	239,991	100,042	132,283
	前年同期	43,855	222,580	62,927	115,275
	前年実績	39,632	188,978	62,927	116,458

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

6月27日に実施した2024年夏季一時金第3回集計には、新たに検数労連から報告が寄せられ、別表の24単産・部会での集計となりました。

回答引出し組合は1902組合のうち43%にあたる817組合となり、前回調査（6月13日現在）655組合（34.9%）から162組合・8.1%増加しました。前年同期（2023年6月29日時点）928組合（46.1%）と比べ111組合・3.1%下回っています。

民放労連の組合での6次回答、JMITUの2組合での5次回答など、回答引出し組合のうち125組合（15.3%）が数次の上積み回答を引き出しています。

回答引出し組合のうち妥結・収拾方向となっているのは344組合（42.1%）です。前年同期の487組合（52.5%）と比べ10.4%減となっています。

回答内容

回答月数が判明している735組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は前回調査から0.01ヵ月減の1.94ヵ月となりました。前年同期比では0.01ヵ月上回っています。

金額回答のあった426組合での単純平均額は、616,703円となりました。前回調査629,596円から12,893円減となりましたが、前年同期比では27,667円上回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は594,806円で、前回調査から1,547円減、前年同期比プラス1,453円となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では684組合の単純平均で今期は1.96ヵ月と前年実績1.95ヵ月を0.01ヵ月上回っています。このうち224組合・32.8%が前年実績を上回り、305組合・44.6%が前年同月数を確保しています。金額では377組合の単純平均で635,994円と前年実績619,940円を16,054円上回り、引き上げ率は2.59%となっています。64.2%にあたる242組合が前年実績額を超える水準を獲得しています。

産業別に見ると、農林水産、卸売・小売業、医療、社会福祉・介護などで厳しい水準となっています。また、鉱業・建設業、マスコミ関係業では前年実績比較可能組合の単純平均月数でマイナスとなっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の11単産173組合から報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は170件となっています。月数報告のあった111件での単純平均は0.765ヵ月で、前回調査（6月13日現在）0.720ヵ月（94件）から0.045ヵ月上昇しました。前年同期（2023年6月29日時点）0.730ヵ月（109件）、前年実績0.738ヵ月（134件）を若干上回っています。また、金額報告のあった44件の単純平均は55,462円で、前年同期43,855円（71件）、前年実績39,632円（88件）を上回る水準となっています。

月給制労働者では94件の一時金獲得となっています。単純平均月数は73件平均で1.340ヵ月となり、前年同期1.342ヵ月（73件）とほぼ同水準です。前年実績1.287ヵ月（99件）を0.053ヵ月上回っています。単純平均額は29件平均239,991円で、前年同期222,580円（30件）、前年実績188,978円（45件）を上回る水準で推移しています。

継続雇用者での夏季一時金獲得報告は、時給制労働者が前回調査同様の 17 件、月給制労働者が 37 件の計 54 件となっています。

時給制継続雇用者は前回調査と変わらず単純平均 0.504 ヶ月（12 件）、100,042 円（3 件）となっています。

月給制継続雇用者での単純平均月数は 1.141 ヶ月（19 件）で、単純平均額は 132,283 円（15 件）となりました。

前年実績比較可能な組合での単純平均を見ると、時給制労働者、月給制労働者、時給制継続雇用者、月給制継続雇用者のいずれも月数・金額ともに前年実績を上回る水準となっています。